

【TOPICS】

■ヒマワリ

今年はハーブの丘、原っぱ東花畑、溪流広場夏花壇一部に植栽しています。
現在ハーブの丘のサンフィニティの開花が始まりました。
ハーブの丘は17日(土)に園路を開放します。



ヒマワリ サンフィニティ

■ユリ類

西立川口周辺でユリ“オリエンタルハイブリッド”やカサブランカが見頃となっています。
また日本庭園、こもれびの丘、こもれびの里を中心に園内各所にヤブカンゾウ、こもれびの丘でヤマユリも見頃となっています。

■ハス

こもれびの里のハスが見頃になっているほか
西立川口さざなみ広場には78鉢のハスの展示を行っています。
昼を過ぎると花が閉じる性質があるため、午前中の鑑賞をおすすめします。
西立川口さざなみ広場のハス鉢は今週末明けに撤去予定です。



カサブランカ



ハス



ダリア

■ダリア

ダリアの庭、原っぱ南花畑周辺共に見頃となっています。
また、コウテイダリアも開花が進んでいます。

■アジサイ類

全体的に見頃過ぎとなりました。

今週の植物情報

	植物名	科名	状況	場所	一口メモ
花畑	ヒマワリ(サンフィニティ)	キク	開花始め	<u>ハーブの丘(もみじ橋近くの丘)</u>	花畑での観賞用としてだけでなく、食用油や石鹸の原料にもなる夏の風物詩です。この品種は枝分かれをし、小さな花を沢山咲かせます。
草花	サギソウ	ラン	開花中	花木園菖蒲田	サギが飛ぶ姿によく似た白い花を咲かせます。
	コウテイダリア	キク	開花中	ダリアの庭	ダリアの中でも青文が高くなる品種のことを呼びます。中には家の2階から観賞できるほど伸びる品種もあります。
	ミソハギ	ミソハギ	開花中	花木園菖蒲田	ピンク色の細かい花を花茎の先にたくさんつけます。
	ヤブミョウガ	ツユクサ	見頃始め	ふれあい広場北側斜面、こもれびの丘南斜面 西立川口ぶらぶら坂(西立川口～No.9交差点)	葉の形や質感がミョウガに似ています。種子でも繁殖しますが、長い地下茎からの増殖もあります。
	カサブランカ	ユリ	見頃	西立川口ぶらぶら坂(西立川口～No.9交差点)	ユリの王様と呼ばれ、純白大輪の花をつけます。香りがとても良い品種です。現在咲いているのはコンカドールと言う黄色の品種です。
	カワラナデシコ	ナデシコ	見頃	秋の七草園(No.16交差点周辺)	一般的に外来種をナデシコ、在来種をカワラナデシコやヤマトナデシコと呼び、外来種との区別化をしていたものが標準名となりました。
	キキョウ	キキョウ	見頃	日本庭園、こもれびの丘南斜面	根が生業にもなります。昔が風船のように膨らむことから英名でバルーンフラワーと呼ばれています。
	クサキョウチクトウ	ハナシノブ	見頃	西立川口ぶらぶら坂下(No.9交差点周辺)	明治時代から呼ばれているものですが、キョウチクトウとは全く関係はありません。オイランソウ、宿根フロックスなどの呼び名の方が有名です。
	ダリア	キク	見頃	ダリアの庭、原っぱ南花畑周辺	花形のタイプでも十数種に分類されるほど非常にたくさんの品種があります。
	ハス	スイレン	見頃	こもれびの里(さざなみ広場は見頃過ぎ)	実の形がハチの巣に似ているところからハチスと呼ばれ、変異してハスとなりました。原産地はインドです。
	ヒョウタン(実)	ウリ	見頃	こもれびの里 花みどり文化センター前グリーンカーテン	古くから、乾燥させ容器や装飾品などに加工されています。
	ヤブカンゾウ	ユリ	見頃	日本庭園、こもれびの丘、こもれびの里ほか園内各所	この花を見て憂いを忘れるという中国の故事からワスレグサという別名があります。ムラサキ科の植物ワスレグサとは別のものです。
	ユリ“オリエンタルハイブリッド”	ユリ	見頃	西立川口ぶらぶら坂(西立川口～No.9交差点)	日本にのみ自生している6品種の固有種を交配してできた新しい品種の総称です。
樹木	アオギリ	アオギリ	開花始め	原っぱ南売店周辺	花後にできる実は、成熟前に5つに裂け、それぞれ船の形になり、その縁に球状の種子をつけるため、船に種子が乗っているように見えます。
	クチナシ	アカネ	開花中	溪流レストラン北側	クチナシの実で黄色に染めた黄飯と呼ばれるものが静岡県～宮崎県の地域で作られ、大分県では郷土料理として紹介もされています。
	タマアジサイ	アジサイ	開花中	花木園展示棟ロックガーデン	その名の通り、球体状のつぼみをつけることから名前が付きましました。花の咲き方はガクアジサイと似ています。
	ノウゼンカズラ	ノウゼンカズラ	開花中	玉川上水口周辺	ラッパのような形の花を咲かせるつる性植物であることから、別名ラッパツルクサとも呼ばれています。
	コブシ(実)	モクレン	見頃	こもれびの里、砂川口周辺	初春につける蕾の形も人の拳に似ていることから名前が付いたとされていますが、この時期につける実も拳を撞った形に似ています。
	ネムノキ	マメ	見頃	第4サークル周辺、こもれびの里	日本では、この枝で頭をなでると早起きになる、体をさすって眠りを覚ませば農作業に精が出るなどの言い伝えがあります。
	アジサイ	アジサイ	見頃過ぎ	花木園、ふれあい広場北側斜面、溪流広場	平安時代から歌にも詠まれ親しまれている花です。園内に約9000株のアジサイが植栽されています。
	アナベル	アジサイ	見頃過ぎ	花木園展示棟前、梅園周辺	アジサイの仲間です。開花につれ薄緑色から白色に変わります。どこを剪定しても翌年花をつける性質があります。
ハーブ	エキナセア	キク	見頃	ハーブ園、花木園売店前	根の部分に含まれている有効成分には、免疫機能を高める働きや抗炎症作用があります。
	サルビア	シソ	見頃	ハーブ園	現在咲いているのはインディゴスパイヤーという青色の品種です。一般的にはサルビアセージという名で流通しています。
	ブッドレア	ゴマノハグサ	見頃	花木園売店前	開花時期には多くの蝶を甘い香りで誘うことから「バタフライブッシュ」の英名があります。日当たりと水はけがよければ非常に生育が早い植物です。
	ワイルドタイム	シソ	見頃	ハーブ園	初夏から秋にかけて桃色～紫色の小さい花を咲かせます。ハーブとして体へ様々な効能があることから「タイムの母」とも呼ばれています。
こもれびの丘	キンミズヒキ	シソ	開花中	こもれびの丘南斜面	ミズヒキに花付きが似ており、黄色の花を咲かせることが名前の由来です。
	ヤマユリ	ユリ	見頃	こもれびの丘南斜面	花びらの半分が反り返っており、横向きに花を咲かせます。食材のゆり根として市場に出ることもあります。
その他、オオバギボウシ、カリガネソウ、キキョウ、ヒヨドリバナ、ミズヒキ、ヤブカンゾウ、ヤマハギなど初夏の山野草が咲いています。					
盆栽苑	キキョウ	キキョウ	見頃	盆栽苑	根が生業にもなります。昔が風船のように膨らむことから英名でバルーンフラワーと呼ばれています。

2021年7月15日
(週刊)



① カサランカ

・西立川口ぶらぶら坂
※同場所に
オリエンタルハイブリッド類も
見頃で開花中。



② ハス

・こもれびの里
・さざなみ広場
※さざなみ広場は
18日週の半ば撤去予定



③ ヒマワリ
(サンフィニティ)

・ハーブの丘
(もみじ橋近くの丘)



④ ダリア

・ダリアの庭
・原っぱ南花畑周辺



⑤ ヒョウタン(実)

・こもれびの里
・花みどり文化センター
グリーンカーテン

